



HULFT10 製品紹介資料 2026年5月版

株式会社セゾンテクノロジー

目次

- HULFT10について（全体概要）
- HULFT10で実現するデータ連携の進化
- 新ラインナップのご紹介
 - ✓ HULFT10 API Gateway
 - ✓ HULFT10 for Container Platform
- 非互換（通信 / 管理 / 接続保証 / 非推奨機能）

HULFT10について（全体概要）

業務システムの長期的な安定稼働に貢献

制約なく自由に		リスクを減らし安全に	
連携	連携先の制約・事情に縛られずに連携できます。	可用性	高可用性の構成で構築可能、障害発生時は容易に復旧できます。
構築	運用自動化に必要な機能を開発不要ですぐに使えます。	完全性	データの欠落・改ざんなくシステム間で確実に連携します。
運用	手間がかからず少ない学習コストで誰でも使えます。	機密性	法令・セキュリティ基準に準拠しデータ漏洩を防ぎます。

HULFT 10



境界線を超えて、
進化する。

HULFTの歩み

DXのバラバラをスルスルに。
HULFTの「つなぐ」は進化を続けます。

HULFTは、1993年のリリース以来、時代の要求に応え続けました。
HULFTリリースから30周年を迎えた現在でも、
ファイル転送のデファクトスタンダードとして愛され続けています。

HULFT10

**クラウドネイティブ
対応**

HULFT8

クラウドストレージオプション
**クラウドリフト/
クラウドシフト対応**

オンプレミスから
クラウド環境への連携

- クラウドストレージへの直接連携によるセキュリティ向上と運用負荷の軽減

HULFT8

運用/導入の負荷軽減

HULFT7からの
機能追加、性能向上

- 転送速度の向上
- セキュリティ強化
- サイレントインストールによる運用コストの削減
- 運用支援機能の追加

HULFT7

ファイル連携の
デファクトスタンダード

パフォーマンス向上

- 転送速度の向上
- 監査ログ対応

HULFTをコンテナサービス化

- 必要な時に必要な分だけHULFTを利用
- スケーリング設定やAPI連携等の新たな価値を提供
- インターネット経由での安全なファイル連携

何故HULFT10なのか

**HULFT30周年記念リリース
単純VersionUpではない大きな進化**

2008年

2014年

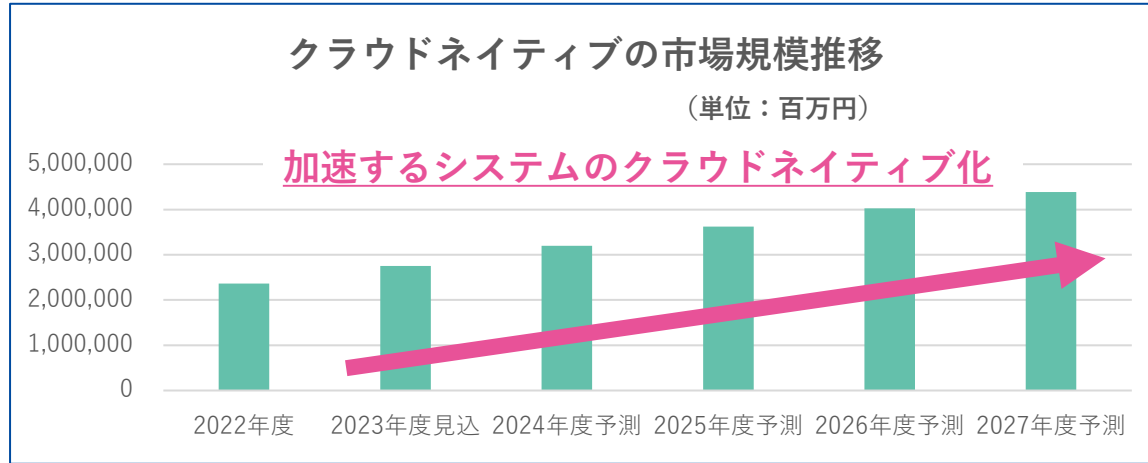
2019年

2024年

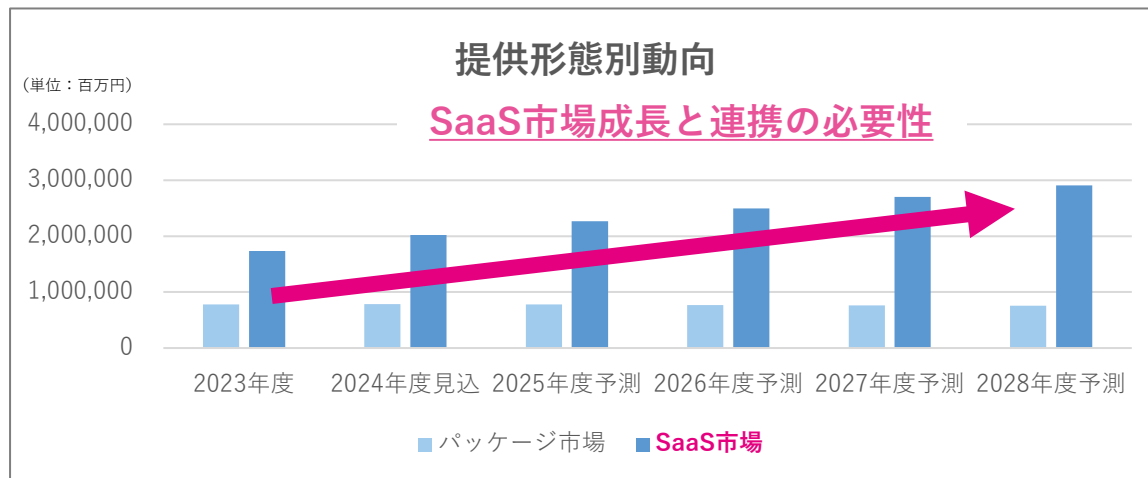
HULFTを取り巻く環境変化

● 市場環境の変化に合わせてHULFTはクラウドネイティブに対応していく必要があります。

※CAGR算出の対象期間：2023年度～2028年度予測の6年間



引用：富士キメラ総研「2024 クラウドコンピューティングの現状と将来展望 市場編」
パブリッククラウド市場規模より



引用:富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2024年度版」

非クラウドネイティブ 年平均成長率 (CAGR) -0.6%

クラウドネイティブ 年平均成長率 (CAGR) 10.9%

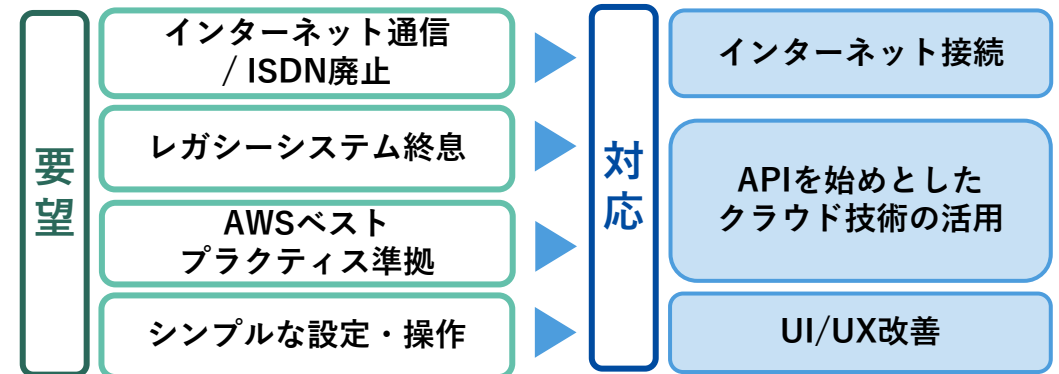
出典：富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2024年版」
提供形態別 (SaaS/PaaS、パッケージ) より

クラウドネイティブ化への課題

IT技術者不足

- ✓ クラウド技術の継続的な変化に適応する技術力
- ✓ クラウドに加えレガシーにも適応するマルチな技術力

お客様の声



※上記の「お客様の声」は、当社実施のアンケートによるデータです

HULFT10ラインナップ

本体製品

HULFT10 for Windows etc..

各OS環境に導入可能なHULFT

HULFTをご利用中のお客様が引き続きご利用する場合や、新規にHULFTをご利用する場合にご検討ください。

HULFT10 for Container Services

コンテナ環境に導入可能なHULFT

各クラウドサービスMarketplaceからコンテナイメージとして利用します。

HULFT10 for Container Platform

コンテナ環境に導入可能なHULFT

コンテナイメージを自社環境にダウンロードして利用します。

関連製品

HULFT10 API Gateway

HULFT統合管理ミドルウェア

Web画面やREST APIにて、インターネット経由で複数HULFTの管理やリモート監視をします。

HULFT10 Manager

HULFT統合管理ミドルウェア

LAN内の各ホストに導入されているHULFTを集中管理します。

オプション製品

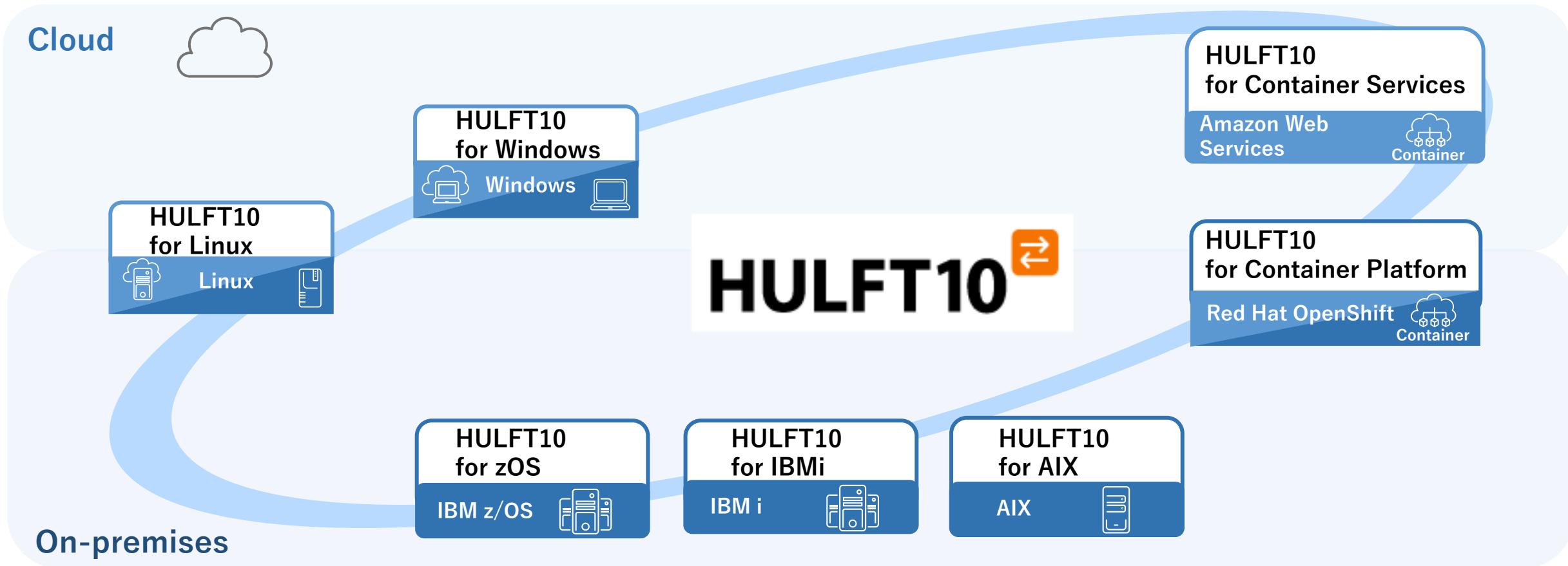
HULFT10 Cloud Storage Option

クラウド上のオブジェクトストレージ（Amazon S3 / Azure Blob Storage / on Google Cloud Storage™ Service）に対して、通常のファイル転送と同様の運用方法でアップロードおよびダウンロードを可能にするオプション製品です。

HULFT10 Cipher Option(AES)

通常の暗号化方式とは異なる暗号化方式で転送データを暗号化します。本暗号オプションを利用すると、HULFTが対応するさまざまなプラットフォーム間で、より暗号化強度の高いファイル転送が可能になります。

HULFT10本体製品のラインナップ



HULFT10のAIX、Linux、Windows、zOSでは、標準搭載される機能に応じた2種類の【グレード】があります。

標準グレード	ファイル転送ソフトウェアとしての基本機能を搭載
拡張グレード	標準グレードに加えて特殊・付加価値機能を搭載したハイエンド製品

HULFTラインナップの拡張

HULFT8 ラインナップ

HULFT8

HULFT8 for Linux

HULFT8 for Windows

HULFT8 for IBMi

HULFT8 for zOS

HULFT8 for UNIX

HULFT8 Manager

HULFT8 for zLinux ※1

HULFT8 for MSP/XSP ※1

HULFT8 for NonStop ※1

HULFT-HUB ※1

※1 バージョンアップは行わず、HULFT8を維持継続致します。

VerUP

本資料説明対象

HULFT10 ラインナップ

HULFT10

HULFT10 for Linux

HULFT10 for Windows

HULFT10 for IBMi

HULFT10 for zOS

HULFT10 for AIX

HULFT10 Manager

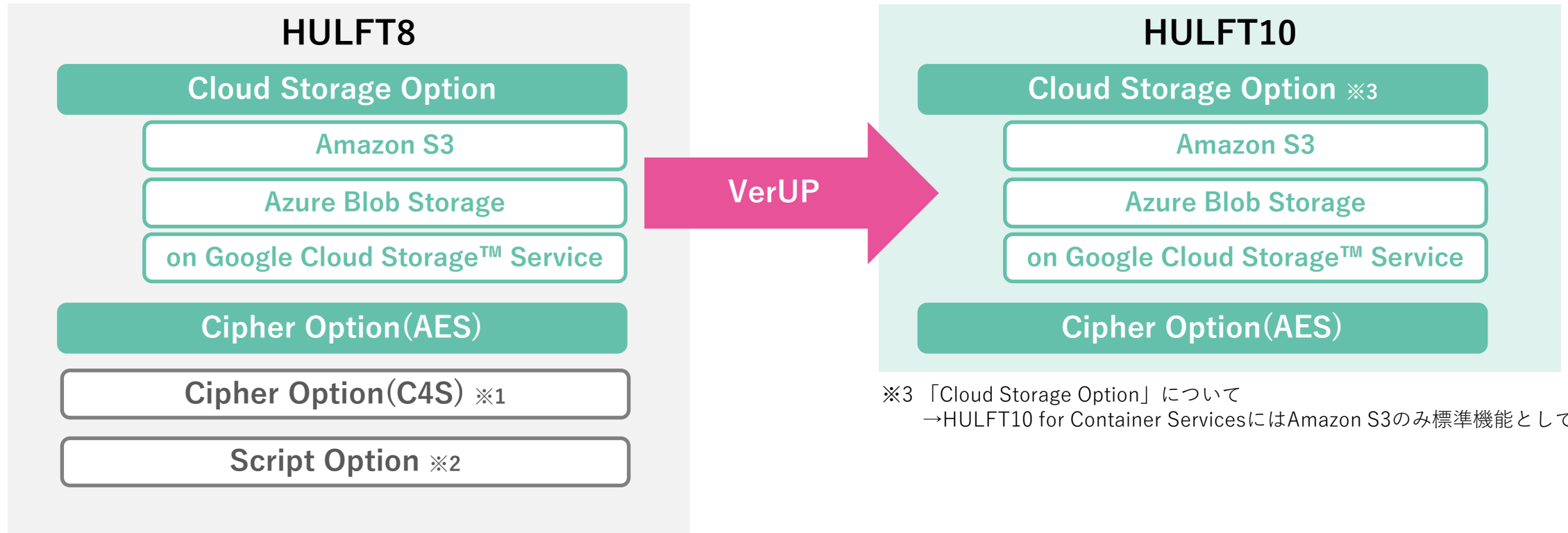
HULFT10 API Gateway

HULFT10 for Container Platform

HULFT10 for Container Services

HULFTオプションラインナップの拡張

- オプション製品のバージョンアップ対象は、AES暗号とクラウドストレージオプション



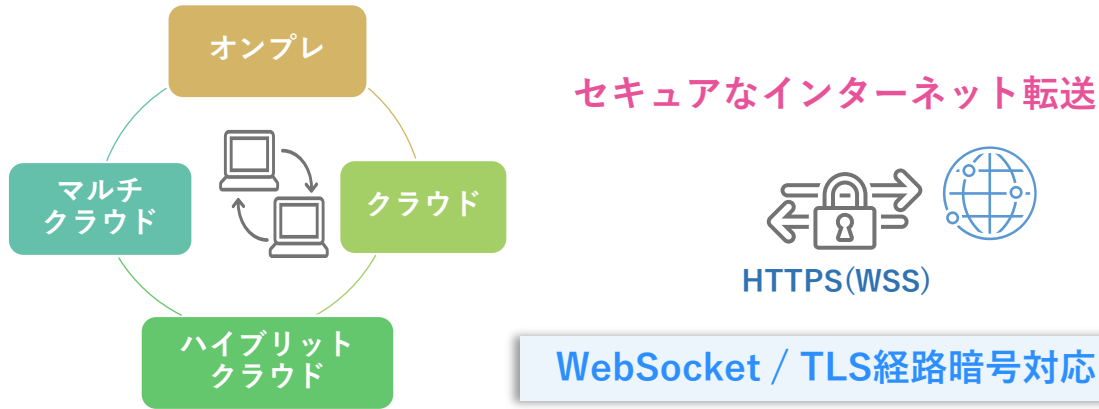
※1 暗号強度の高いAESへの移行を推奨
 ※2 DataSpider Servistaへの移行を推奨

※3 「Cloud Storage Option」について
 →HULFT10 for Container ServicesにはAmazon S3のみ標準機能として搭載

HULFT10で実現するデータ連携の進化

HULFT10で実現するデータ連携の進化

インターネット転送



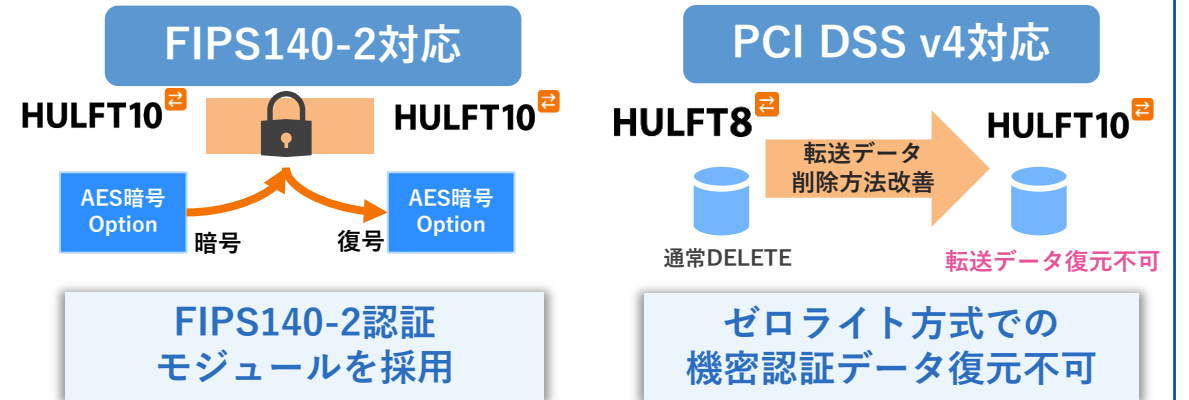
クラウドネイティブ対応



HULFT8を超える転送性能向上



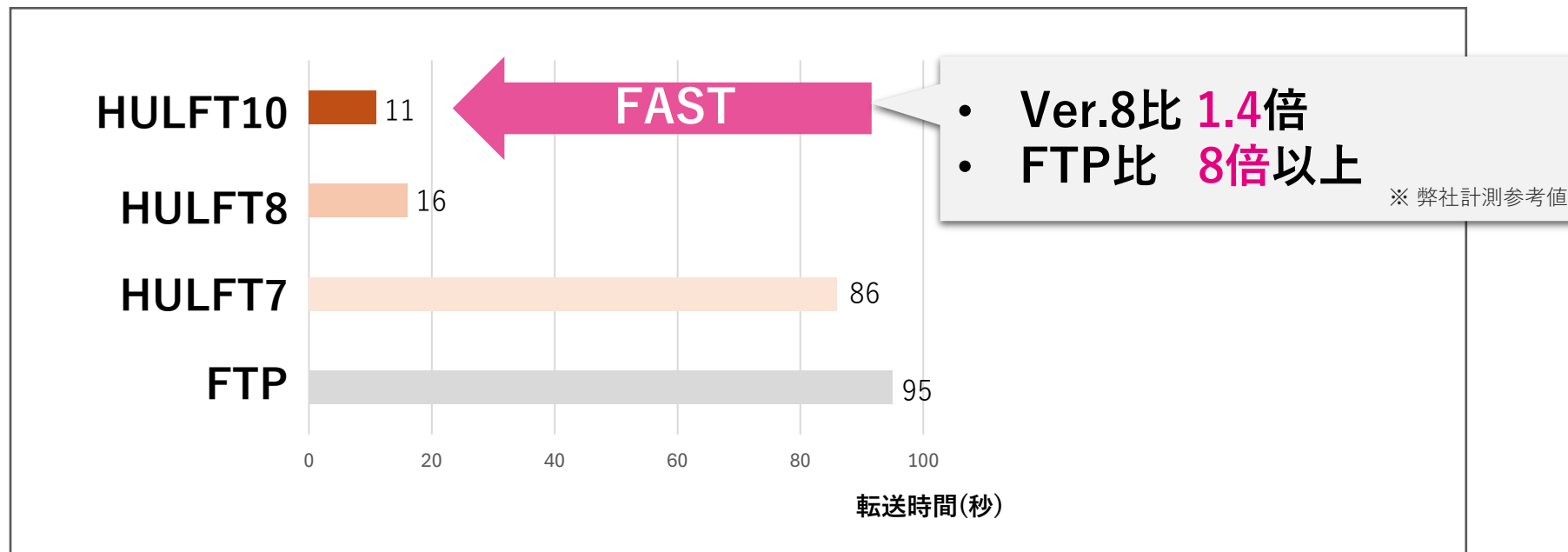
業界標準への対応で安全安心の追求



HULFT10 for Windows/Linux/AIX/zOS (新圧縮方式 Zstandard)

新圧縮方式採用 (Zstandard) で現行バージョンを超える転送性能向上

- HULFT10 for Windows、Linux、AIX、Container Services/Platform
- 新圧縮方式による転送性能向上



HULFT10 for Windows/Linux/AIX (PCI DSS v4対応)

目的

- HULFTが転送データ等を復元不可能な状態で消す機能を実装することで、HULFTを利用したシステムのPCI DSS v4.0準拠を支援する

実装方法

- 復元不可能な状態にする方法は、データをすべてバイナリコード0で上書きする（ファイルの削除だけでなく、ファイルの中身をクリアする際も対象）

【設定箇所】（システム動作環境設定-セキュリティ-転送関連ファイルの削除モード）



【対象ファイル】

配信ファイル	集信一時ファイル
集信ファイル	複数集信ファイルデータ抽出後ファイル
集信ファイル(バックアップ)	ファイルレコード編集後ファイル
集信ファイル(CSV形式)	結合ファイル
世代管理ファイル	分解ファイル
複数集信ファイル	

【PCI DSSとは】

Payment Card Industry Data Security Standardの頭文字を取った略称。加盟店やサービスプロバイダにおいて、クレジットカード会員データが安全に取り扱うことを目的として策定されたクレジットカード業界のセキュリティ基準。

HULFT10 for zOS-Enterprise(新グレード)のご紹介

zEDCによるDEFLATE圧縮で転送することにより転送性能向上とCPU使用率の削減

● HULFT10 for zOS



転送時間

圧縮なしと比較して**最大5倍短縮**

HULFT10[↔]
圧縮なし



HULFT10[↔]
DEFLATE圧縮

CPU使用率

HULFT8と比較して**最大70%削減**

HULFT8[↔]
横/縦横圧縮



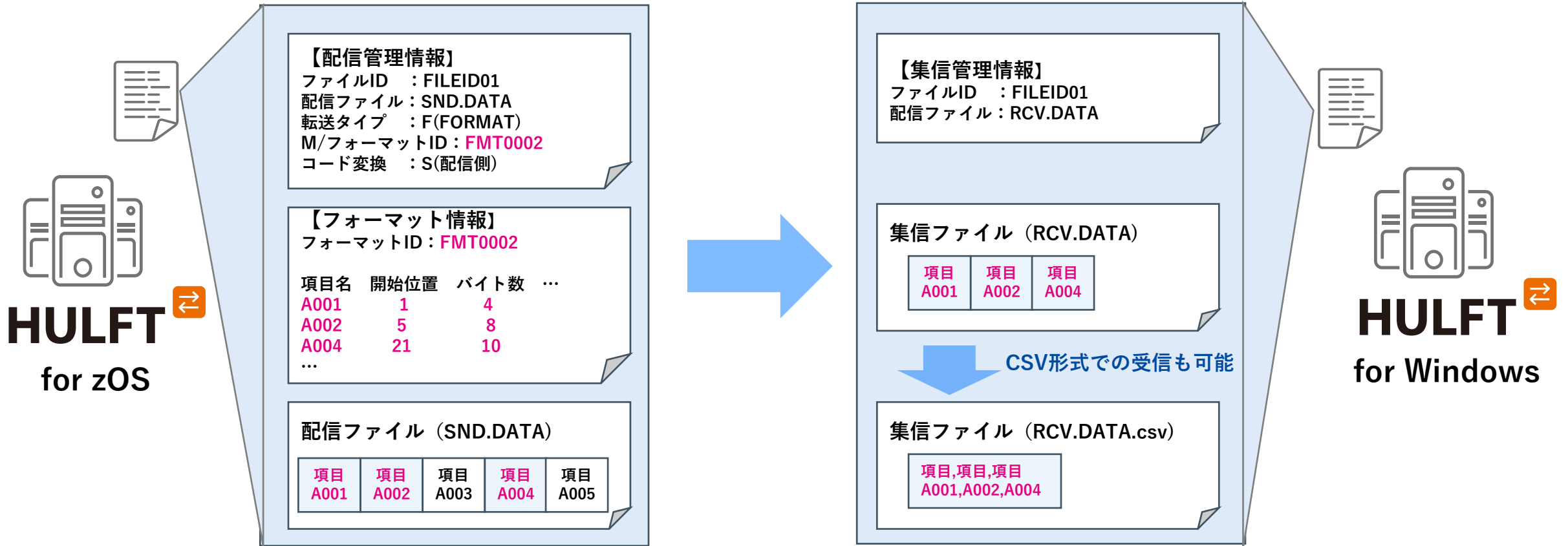
HULFT10[↔]
DEFLATE圧縮



HULFT10 for zOS Enterprise版でDEFLATE圧縮する場合、対抗先のHULFTのバージョンはVer.8とVer.10どちらも利用可能です。但し、for zOS同士の転送でDEFLATE圧縮を行う場合は、集信側/配信側どちらもEnterprise版である必要があります。

メインフレーム機能（部分転送）のご紹介

HULFTによる配信ファイルについて、メインフレーム版ではフォーマットの一部を転送することができます。フォーマット情報に転送対象とするレコードの一部の項目を指定して登録します。



※ 適用対象は下記です。
 ・フォーマット転送 ・マルチフォーマット転送

※ 対象製品は、 for zOS / MSP / XSP です。

段階的なモダナイゼーション（部分転送のユースケース）

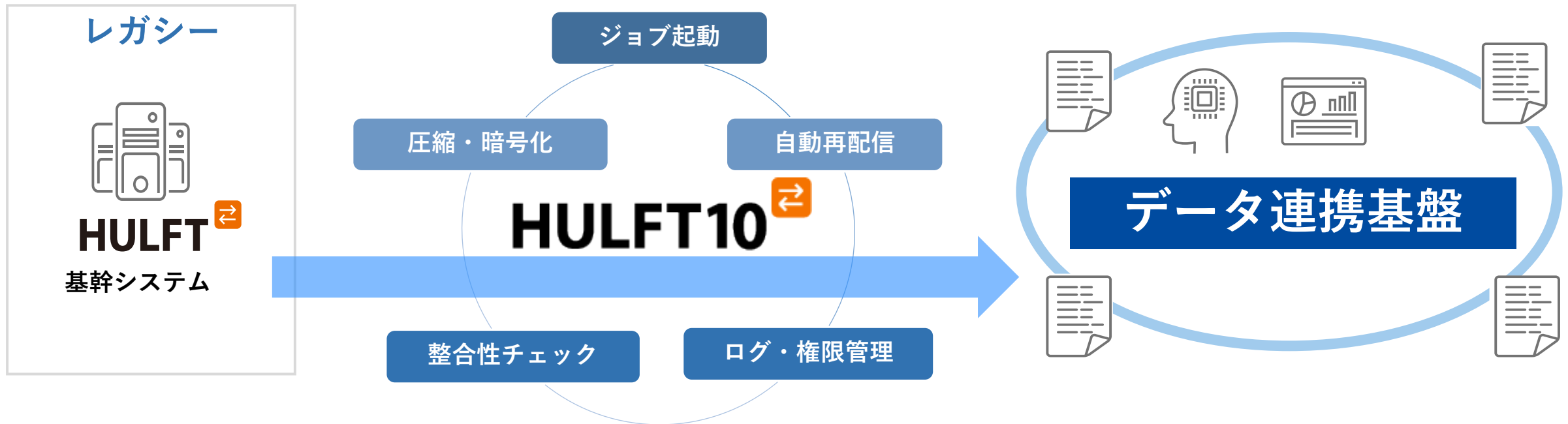
HULFT10により基幹システムのデータを段階的に移行する**データモダナイゼーション**を実現。部分転送による指定項目のデータ転送で、よくある個人情報の取り扱い課題を解消します。

HULFT10 HULFTが持つ基本機能に加え、**部分転送**によるモダナイゼーションへの活用

高度な圧縮機能で大容量ファイル転送でのネットワーク帯域の負荷低減

ファイル転送履歴に加え、操作履歴や設定履歴で追跡

送達確認や整合性チェックでデータの完全性を担保

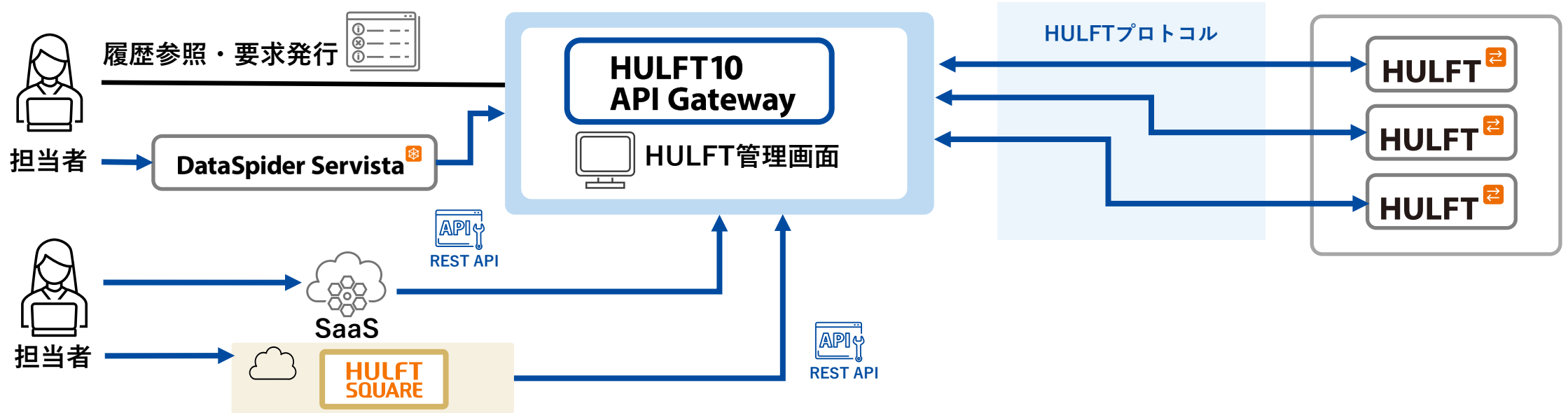


新ラインナップのご紹介

API Gateway

Container Platform

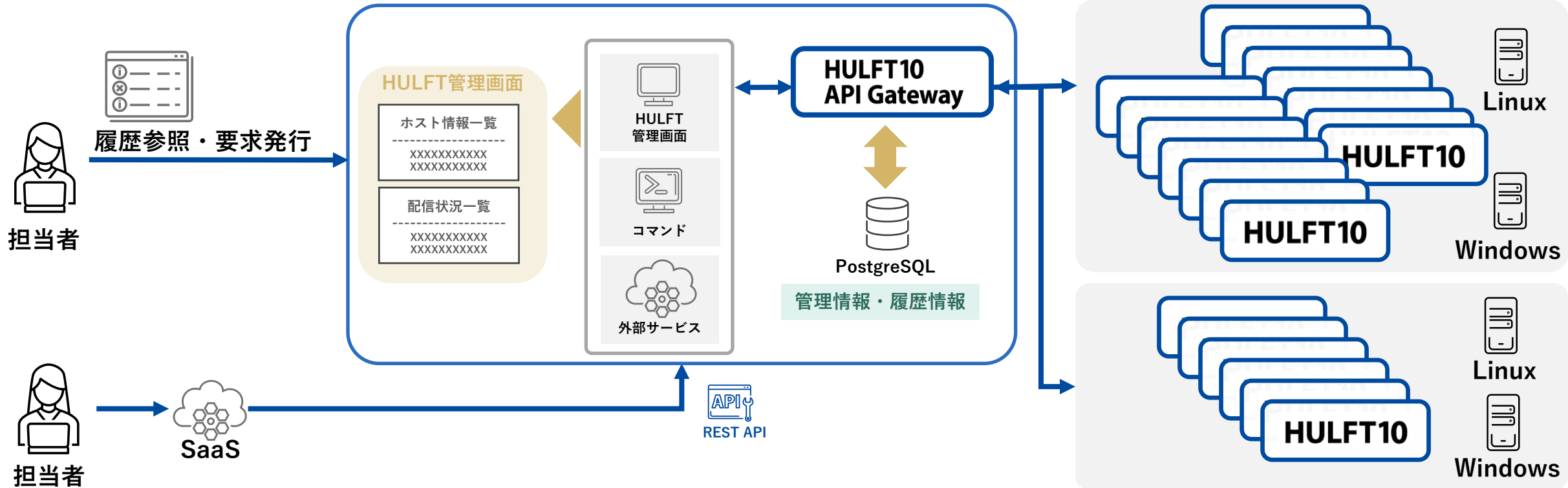
- Web画面やREST APIにて、複数HULFTの統合管理をするミドルウェアです。管理画面から複数HULFTの管理情報や集配信履歴を管理します。



外部連携	Web管理画面によるHULFT統合管理	✓ 複数HULFTの設定値設定や確認を集約
操作性	REST API機能	✓ 管理対象HULFTの設定情報を制御

※ HULFT-HUB L版との互換性はありません。今後変更になる可能性があります。

■ ブラウザを利用し、HULFTの管理（管理情報の管理、履歴参照、要求発行）が可能



課題

- ✓ 異なる稼働環境のHULFTの個別管理には、それぞれのHULFTでの操作が必要となり運用負担が大きい。
- ✓ HULFTの個別設定までの技術習得には少なからず時間が必要となる。

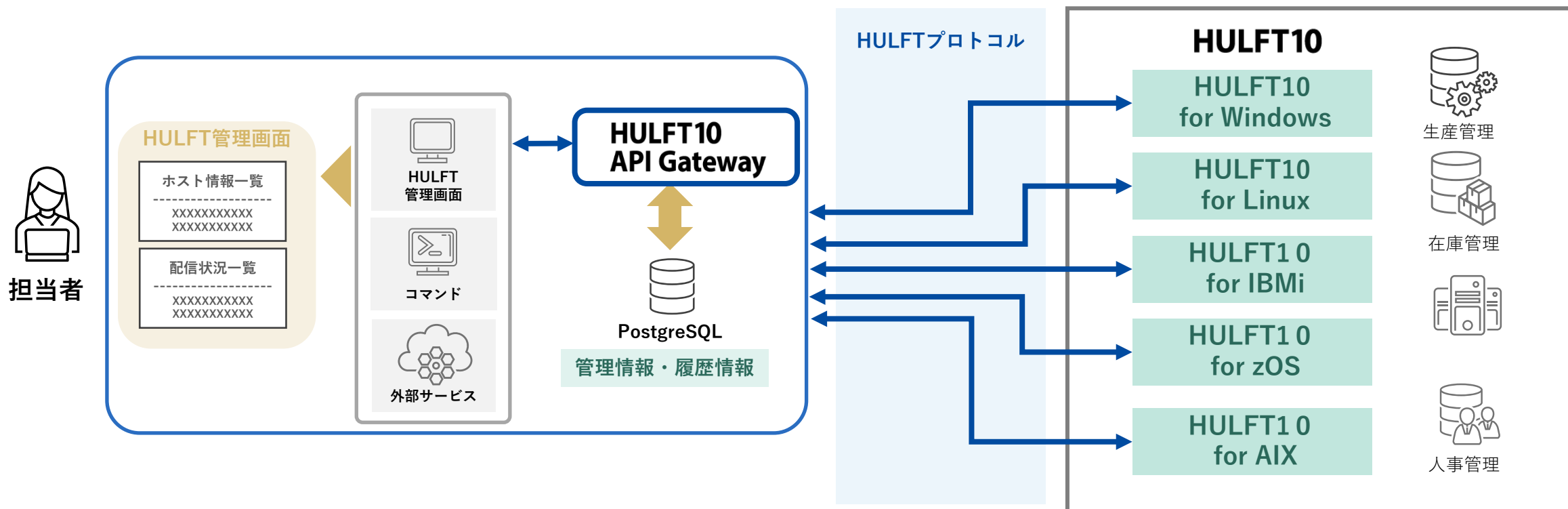
解決

- ✓ Webブラウザ経由で異なる稼働環境の複数HULFTを統合的に管理でき運用負荷が大幅に軽減される。
- ✓ 複数HULFTの設定登録・参照などの統括管理用のAPI提供により一般的な技術者が即時利用できる。

ここが違う！棲み分けポイント！

IT技術者の不足問題

- ✓ データ連携APIが提供されるため、**IT技術者の確保**が容易であり、データ連携処理の構築をスピーディに実現
- ✓ データ源泉側のHULFT技術者はそのままに、管理側ではAPIを用いた統合管理を実現



※上図は、各HULFTとの連携でLANを利用している場合の図になります。

① ログイン画面

利用者のブラウザからログイン操作できます



② ホストの管理

複数HULFTのホストの管理ができます

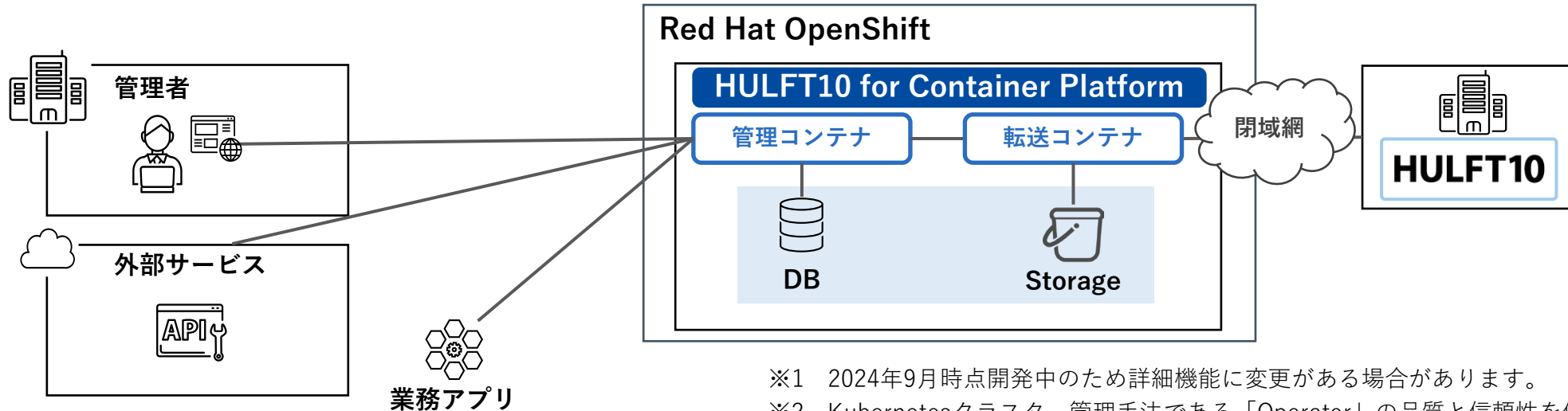


③ HULFT管理画面

管理対象のHULFTの設定情報を一元管理



- Red Hat OpenShift上で利用するKubernetesコンテナオーケストレーションプラットフォームです。Red Hat社のOperator認定※2を受け、Kubernetesリソース管理の品質と互換性を担保します。



※1 2024年9月時点開発中のため詳細機能に変更がある場合があります。

※2 Kubernetesクラスター管理手法である「Operator」の品質と信頼性を保証します。

管理コンテナ

- ✓ 管理情報や履歴などのGUIによるHULFTの設定と管理
- ✓ 管理画面やWeb APIでの操作で外部サービスや業務アプリとの自動連携
- ✓ 管理情報や履歴をコンテナから独立した永続領域で保存、別コンテナへの引継ぎやバックアップ

転送コンテナ

- ✓ 転送負荷に応じた転送コンテナの自動起動による必要リソースの柔軟な確保
- ✓ コンテナ固有のメリットである自動起動により障害発生時のサービス可用性と業務継続性の確保

HULFT



【公式】HULFT10 マニュアル

<https://www.hulft.com/help/ja-jp/HULFT-V10/index.htm>



HULFT10 製品紹介資料



HULFT10 API Gateway 製品紹介資料



HULFT10 for Container Platform / Services 製品紹介資料



HULFT10 for zOS 向け提案資料



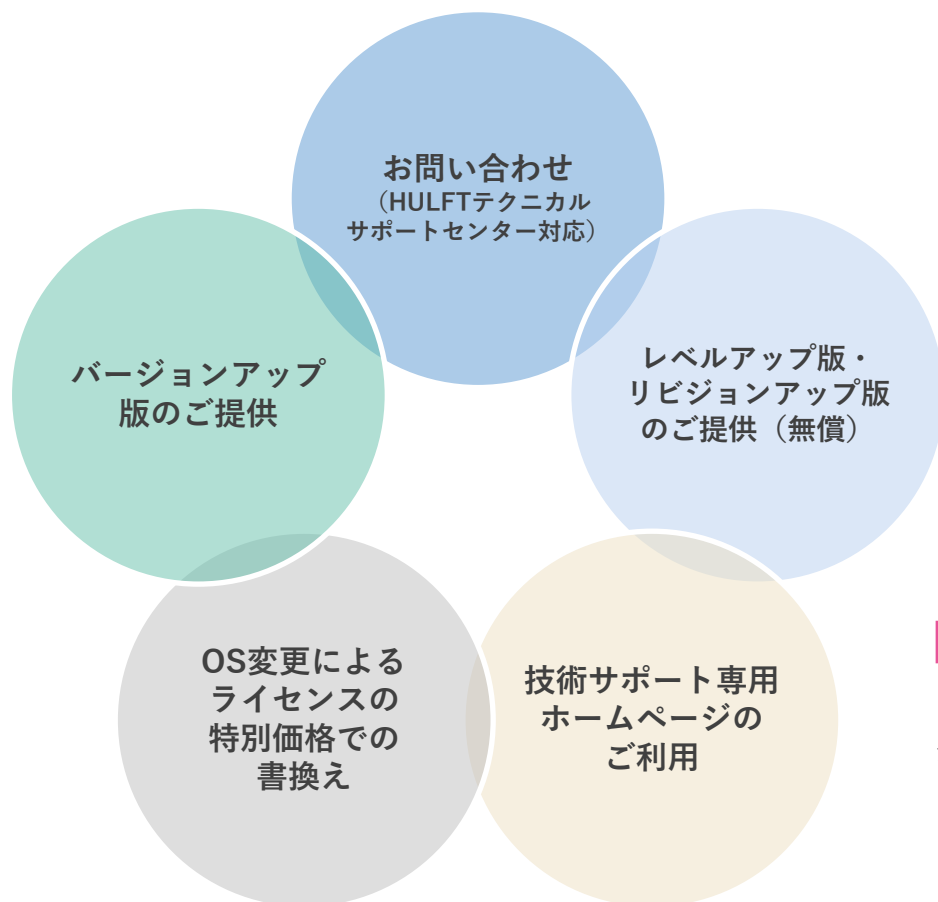
HULFT10 価格表



HULFT10 セールスガイド

技術サポートサービス

- 製品だけでなく、お客様の運用をご支援する様々なサービスも提供しています。



年間技術サポートサービス Standard Support (通常サポート)

月曜日~金曜日 9:30~17:00 (祝祭日および12月30日~1月3日を除く)

24時間サポートサービス (夜間・休日サポートサービス)

24時間365日

■ HULFTサポートパックとは

「技術サポートサービス」を商品化し、製品と同様の方法で簡単にご購入いただけます。
長期のHULFTサポートパックには、技術サポート料金を低減できるメリット（割引）があります。

- 簡単なお手続きでクイックスタート！
- 更新手続きもスムーズに行えます。
- 一回のお申込みで、最大5年の長期サポート

提供サービス

HULFT入門コース

HULFTを効率よく学べる研修サービス（有償）をご提供しております。
詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.saison-technology.com/seminar/training/hlhub-win/>

HULFTハンズオンセミナー

ファイル転送の仕組みと前後処理の自動化を学ぶハンズオンセミナーをご提供しております。
詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.saison-technology.com/seminar/hands-on/HL003-2/>

HULFT製品の評価版提供

HULFT製品を無償で、お試し頂く事が可能です。
インターネットダウンロードにてご提供しております。（使用期限は60日間）

詳細は弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.saison-technology.com/service/product/download/>

評価版ダウンロード一覧よりお探しく下さい。

関連WEBサイト

HULFTシリーズ

- HULFT公式サイトです。最新の導入事例や、オンラインマニュアルなど、製品に関する様々な情報を提供しています。



<https://www.saison-technology.com/service/product/>

myHULFT

- 評価版利用や各製品のダウンロード、ご利用のライセンスの管理のほか、セミナー/研修のお申込、各種お問い合わせができるお客様ページです。



<https://his.hulft.com/mypage/login/login/>

HULFT WEBマニュアルサイト

- HULFTやDataSpider、およびHULFT Familyの一部製品についてWEBマニュアルを公開しています。



<https://www.hulft.com/help/ja-jp/Home.htm>

HULFT Technical Support Site

- お客様から寄せられた質問とその回答や技術用語について紹介しています。




<https://www.hulft.com/tech-support>



コミュニティサイト等

DMS Cube

- データマネジメントに興味のある人が集い、交流できる場所として誕生したコミュニティサイトです。データマネジメントに関する最新情報や、ユーザー同士で情報交換ができるコミュニティ、HULFT製品群（DataSpider含む）の知っていると便利なTipsや技術者認定資格対策講座を公開しています。

 <https://dmscube.com/view/home>



YouTube HULFTチャンネル【公式】

- HULFT、DataSpider ServistaをはじめとするHULFT Family製品を、動画で紹介しています。各製品ついて、動画で学ぶハンズオンセミナーも公開中です。

 <https://www.youtube.com/channel/UCrlzPF5gb0MgKqeXVNIh9mQ/>



Qiita 株式会社セゾンテクノロジー

- セゾンテクノロジーのQiita Organizationです。当社SEが、皆様に役立つような技術情報をフランクに投稿しております。※掲載内容は個人の見解であり、所属する企業を代表するものではありません。

 <https://qiita.com/organizations/saison-technology>



非互換

(通信 / 管理 / 接続保証 / 非推奨機能)

HULFTの通信・管理・連携保証の基本

※ HULFT Series の通信保証については、[マニュアル](#)（通信保証）をご参照ください。

■HULFTの各保証について… 該当のHULFTが対象となる機能を利用できることを保証します

通信保証

ファイル転送など相手と通信を行う機能を利用できる

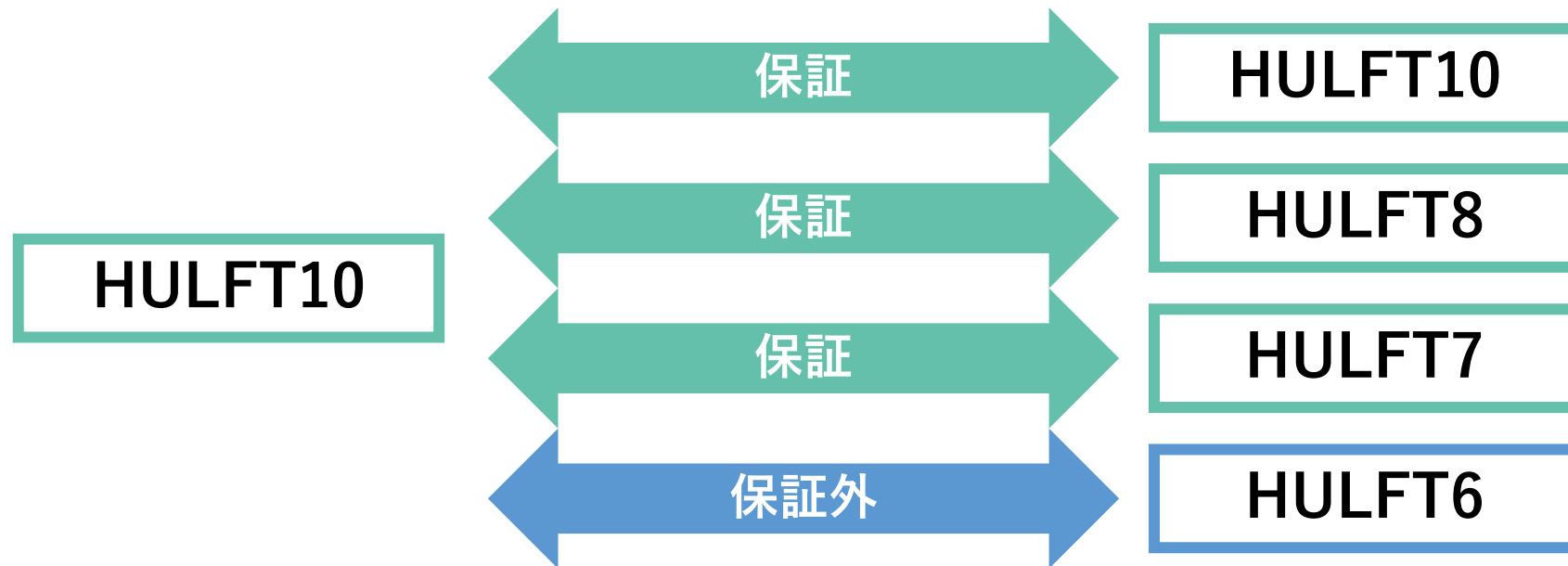
管理保証

リモートで転送設定やログの管理などを行うことができる

連携保証

HULFTと連携する機能を用いて、対象のHULFTと連携できる

■HULFTの基本の考え方について… 現行製品のバージョンアップ時、2バージョン前までの通信を保証



※新製品については個別に保証範囲を設定します

※HULFT VOS3版は、HULFT6が最新リリースですが
HULFT6はHULFT10から3シリーズ前の製品のため通信保証を行いません。

HULFT10 管理保証

項目	製品	HULFT10 for Windows/Linux/AIX/IBMi/zOS	HULFT10 for Container Services Container Platform
管理元	HULFT10 Manager	管理保証	管理不可
	HULFT8 Manager	管理不可	
	HULFT10 API Gateway	管理保証	管理不可
	HULFT-HUB Ver.3(管理)	管理保証※1※2	管理不可

※1 HULFT-HUB Server Ver.3.9以上を保証します。

※2 HULFT10の新機能は管理設定できません。

※5 HULFT10 for Container Services 10.2.0以降のみが対象です。

項目	製品	HULFT10 Manager	HULFT10 API Gateway
管理先	HULFT10 for Windows/Linux/AIX/IBMi/zOS	管理保証	
	HULFT10 for Container Services/Container Platform	管理不可	
	HULFT8	管理保証	管理不可
	HULFT7/HULFT7e	管理保証	
	HULFT6以下(含む for K)	管理不可	
	HULFT-SAN		

HULFT10 連携保証

製品	機能名	HULFT10 ※1				
		Windows	Linux	AIX	IBMi / zOS	Container Services Container Platform
DataSpider Servista ※2	HULFT Scriptトリガー HULFTアダプター	連携保証		連携不可	連携不可	
DataMagic	外字テーブルおよび EBCDICユーザテーブルの共有	連携不可	連携保証		連携不可	
	DataMagicからHULFTの フォーマット情報読込	連携保証			連携不可	
HULFT- WebFileTransfer	HULFT連携	連携不可				
HDC-EDI	HDC-EDI Manager	連携不可				

※1 HULFT10 for Container Services 10.2.0以降のみが対象です。

※2 DataSpider ServistaVer.4.5SP1内で対応予定です。

非推奨 / 廃止機能

下記の機能は互換性のために残されている「非推奨機能」と「廃止機能」です。
次バージョン以降で、廃止となる可能性がありますのでご注意ください。

分類	対象製品	対象機能
非推奨	HULFT10共通	簡易転送
		EBCDICセット ASPEN/NECカナの設定
	HULFT10 for Windows	メール連携
		転送情報集計コマンド
	HULFT10 for Linux	フォーマット情報表示コマンド
	HULFT10 for AIX	
HULFT10 for IBMi		
廃止	HULFT10 for Windows	画面利用時のヘルプの「キーワード検索」
	HULFT10 Manager	
	HULFT10 for zOS	履歴等のUTF-8項目削除
		らくらくインストール
		システム動作環境設定（要求受付ホストチェック(APTHSTCHK)) タグ
	HULFT10 for IBMi	自機種コードUTF-8（転送コードセット(CS4TRNSFR))

各機能の詳細については、新機能・非互換説明書をご確認ください。

機能別の対象製品（Zstandard / FIPS140-2 / PCI DSS V4.0）

■ 対象製品（Zstandard） ※HULFT8との通信では既存のDeflate圧縮で転送します。

- HULFT10 for Windows
- HULFT10 for Linux
- HULFT10 for AIX
- HULFT10 for Container Services

■ 対象製品（FIPS140-2）

- HULFT10 for Windows
- HULFT10 for Linux
- HULFT10 for AIX

■ 対象製品（PCI DSS V4.0）

- HULFT10 for Windows
- HULFT10 for Linux
- HULFT10 for AIX

※ 対応OSや必須ソフトウェアなどの動作環境については下記をご参照ください。
<https://www.saison-technology.com/service/product/lineup/hulft-10/os/>



< 免責条項 >

本資料の内容は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されているものであり、今後予告なしに変更されることがあります。よって本資料使用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願いいたします。

なお、本資料に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。